

やすらぎ

故 小栗雄太郎氏書

99号
2018年
7月



コミュニケーション麻雀

各地区のサロンや区の集まりなどで「コミュニケーション麻雀」を行われる方々が増えています。麻雀と聞くと難しく感じるかもしれませんが、大きな牌を使って誰でも簡単にできるゲームです。頭、身体を使いながら交流も楽しめるところが最大の特徴です。

もっと多くの方々に楽しんでいただけるよう、今年度は2セット購入します。閉じこもり予防、介護予防、認知症予防、仲間づくりのために使って下さい。

も く じ

平成29年度川辺町社会福祉協議会事業報告	2,3,4
平成29年度一般会計収支決算報告、平成30年度一般会計収支予算書	5
平成30年度川辺町社会福祉協議会会費納入にご協力をお願いします	6,7
善意のご寄付ありがとうございます、各種相談日程、社協予定表、 ゆうゆう舎エコ活動実績報告、敬老会の出欠確認を兼ねた見守り活動について	8



この広報は、皆様からの会費と、赤い羽根共同募金の配分金でつくられています。

平成29年度 社会福祉法人川辺町社会福祉協議会 事業報告

<基本理念>

誰もが安心して自分らしく暮らすことができる地域社会をみんなでつくりだす

<基本体制>

- 1 福祉・医療・保健・教育との連携を図り、誰もが尊厳をもって自分らしく暮らせるまちづくりの実現に努めます。
- 2 利用者の自立生活を支援するため、利用者本位の質の高いサービスの拡充、地域福祉の推進及び介護サービス事業・障がい福祉サービス事業の運営に努めます。
- 3 個人の選択を尊重するため、社会福祉事業に関する情報提供、個人情報保護などの利用者保護制度の推進に努めます。
- 4 ボランティア活動の振興や、災害救援体制の確立、福祉教育を推進し地域に根ざした個性ある福祉の文化づくりに努めます。
- 5 小地域を基盤とした住民参加型の介護予防・生活支援事業の企画運営や小地域福祉ネットワーク事業の展開に努めます。
- 6 共同募金活動を積極的に推進し、住民参加による福祉コミュニティづくりに努めます。

(この6つの柱を基本体制として、事業を推進いたします。)

法人運営事業

- ・理事会(4回)、評議員会(3回)、定例監査(1回)、県・町の指導監査、行政監査の実施、地域協議会の説明会の実施

組織運営・事務運営・福祉活動専門員設置事業

1. 各種関係機関・団体との連携活動の強化
 - ・民生児童委員と連携し、敬老会、友友会、サロン交流会の事業を実施。民生児童委員協議会定例会、親子遠足、親子バーベキューへ参加
2. 事業・経営基盤の強化
 - ・第2期地域福祉活動計画に基づき地域福祉活動を行った
 - ・介護事業基金を取り崩し、デイサービスセンター外壁工事を行った。また、安全・安心まちづくり基金の設立をし、適切な資産運用を実施した。
 - ・税理士事務所と契約し財務の管理を行った
3. 企画・広報活動事業の推進
 - ・社協だよりの発行(年4回)、ホームページの定期更新
 - ・地元ケーブルテレビで社協事業のPR
4. 社協会員の財政基盤の強化
 - ・社協会員企業に対して、広報誌と号外を送付
 - ・各地区で会費説明会の実施(9地区)
5. 各地域での地区懇談会の開催
 - ・職員が各地区に出向いて要支援者福祉マップづくりを行った(3地区)
6. 研修会、講習会、会議等への参加及び資格取得促進
 - ・常勤職員会議(年12回)、介護職員会議(年6回)の実施
 - ・各種研修会への参加、資格所得の促進
 - ・可茂地区社協との交流

社会福祉事業

1. 軽度生活支援事業(町受託事業)
 - ・介護保険対象外の方へ訪問介護サービスを実施した(1名51件)
2. 外出支援サービス事業(町受託事業)
 - ・運転手つきの車両にて移送サービスの提供をしていたが、平成29年9月で終了(1名10件)
3. 福祉バス運行事業(町受託事業)
 - ・地区巡回バス(北7,068名、南2,320名)、児童クラブ送迎2,347名、行政バス278回6,536名利用
4. 認定調査事業(町受託事業)
 - ・介護保険対象者の家庭に訪問し、更新の調査を行った(86件)
5. 児童クラブ運営事業(町受託事業)
 - ・放課後帰宅時に保護者のいない児童に対し、毎週月～土曜日開設し実施した。(34名)
 - ・お祝い会、クリスマス会、お別れ会や夏休み行事を開催した。また、福寿会やボランティアに協力していただき行事を行った
6. やすらぎの家の管理運営
(指定管理制度：平成29年度～31年度)
 - ・住民の憩いの場になるように9時～21時開館をし、今年度から土曜日、日曜日の他、祝祭日も開館した。但し、12月28日～1月3日は休館とした。(風呂5,035名、部屋19,242名、一般来館者16,346名)

児童福祉事業

- 福祉協力校指定事業（共同募金事業）**
 - ・町内こども園、小学校、中学校を福祉協力校として指定し、各校に20,000円の助成をした。
- 児童福祉施設訪問事業（共同募金事業）**
 - ・民生児童委員協議会と児童福祉週間に合わせて、各こども園を訪問し交流を行った
- 町内こども園、学校との福祉推進事業、福祉教育推進事業**
 - ・職員が学校で福祉の授業を実施（6回）、福祉施設へ児童・生徒の受入（4回）デイサービス利用者とこども園児の交流

老人福祉事業

- 敬老会事業の開催**
 - ・民生児童委員、福祉委員、各種ボランティアの協力を得て実施。5日間477名参加（75歳以上）
- 友友会**
 - ・民生児童委員、配食ボランティアの協力を得て実施。75名参加（65歳以上一人暮らし）
- 配食サービス事業（共同募金・歳末助け合い募金事業）**
 - ・民生児童委員、配食ボランティアの協力を得て見守り活動を兼ねた弁当の調理、配達（年24回、2,013食配達、1回の平均84食）
- 福寿会事務委託事業（町受託事業）**
 - ・町連合福寿会と連携し、交通安全講習、振り込め詐欺予防講習を開催（2回303名参加）
 - ・地域で花いっぱい運動の実施（465名参加）
 - ・会長、女性部長会を開催（年4回121名参加）
- ふれあい・いききサロン事業の普及、活動支援**
 - ・町内30サロンが活動中
 - ・サロン交流会を実施（100名参加）
 - ・認知症予防講座やすらぎ音楽サロン（月1回）の実施
 - ・サロン開催の為に公民館使用料の助成（9団体）
 - ・男性を対象にした居場所づくりの推進（料理教室2回、お弁当作り2回）
 - ・サロン代表者会議を実施（2回）
 - ・高齢者歳末安否確認の実施
 - ・高齢者ふれあい年賀状の送付実施

母子・父子福祉事業

- 母子・父子家庭クリスマス事業（歳末助け合い募金事業）**
 - ・ケーキを家庭に配達（43世帯のひとり親世帯へ配達）
- 親子ふれあい事業（歳末助け合い募金事業）**
 - ・ボウリング大会の開催（21名参加）

障害福祉事業

- 障がい者福祉協議会の支援・育成事業（町補助事業）**
 - ・障害者福祉協議会のスポーツ大会のサポート（年2回）
- 介護者の集い開催事業（共同募金・歳末助け合い募金事業）**
 - ・現在、在宅で介護をしている家族を対象に、介護の勉強会、心身のリフレッシュ、同じ立場の人達との交流会を実施（年2回、32名）
- 障がい者相談事業**
 - ・年3回

ボランティアセンター事業

- ・ボランティアコーディネート（26件調整、登録団体38団体、個人登録16名）
- ・傾聴ボランティア講座の実施（28名）
- ・配食ボランティア対象の料理研修会を実施（18名）
- ・ちょっとした手助けサポーターの活動をサポート（38件 完了件数32件）また、岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバルで活動発表を行った。
- ・ボランティア団体「かわべ防災の会」として住民を対象にした防災講演会を実施（28名）
- ・サロンや福祉施設で活躍できるボランティアの育成（話し方上手講座 14名、サロンで使える実技講座 13名）
- ・民生児童委員・福祉委員合同研修 1回実施（30名）
- ・次世代ボランティア育成事業（ワークキャンプ、16名）
- ・古切手・テレホンカード等収集・リサイクル活動推進事業
- ・ボランティア保険加入推進事業（701名加入、一人200円の補助）

地域総合相談・生活支援事業

- ・弁護士による無料法律相談事業（年6回31件）
- ・社協専門職員による福祉何でも相談事業（554件）
- ・日常生活自立支援事業の推進と福祉サービス利用支援の強化（相談387件）
- ・生活福祉資金貸付事業（貸付12件、相談9件）
- ・生活困窮者自立支援事業（115件）、生活困窮者自立支援調整会議への参加
- ・子どもの学習支援事業（夏休み3回8名参加、平日6回12名参加）

介護保険給付事業

1. 居宅介護支援事業

- ・要介護認定利用者数のべ1,128名、要支援認定利用者数のべ104名

2. 他機関・他職種への連携

- ・介護相談対応、日常生活自立支援事業相談対応、福祉用具・福祉車両無料貸し出し事業相談対応
- ・介護者の集い事業への参加

3. サービス向上の取り組み

- ・7月から特定事業所加算を取るために、体制の一部を変更した
- ・緊急用の携帯電話を事業所に配置した

4. 地域づくりへの取り組み

- ・業務を通し地域の課題を見つけ、関係機関への提言・協力を行った
- ・地域ネットワーク会議への参加（5回）
- ・地域ケア会議開催への提案、問題解決を図った
- ・介護支援専門員の受講生2名を受け入れ見学実習を行った

訪問介護・訪問入浴・介護予防訪問介護・介護予防訪問入浴事業

1. ケアマネージャから依頼を受けて訪問介護員（ホームヘルパー以下「ヘルパー」）が介護認定を受けた方の自宅を訪問し、サービスを提供した

- ・訪問介護のべ3,970件訪問、介護予防訪問介護のべ1,436件訪問

2. 研修を行いより良いサービスの提供に努めた

- ・月1回、ヘルパー全員が情報の共有を図るために打ち合わせ会、職員のレベルアップのために事務所内研修を実施した

3. 地域づくりへの協力

- ・敬老会、友友会へ参加し地域住民との交流を図り、児童に福祉への関心を持ってもらえるように小学校で福祉授業を行った
- ・専門学校と連携し、介護福祉士や初任者研修等の実習生を受け入れ、介護員養成を行った
- ・台風が川辺町に接近した場合、一人暮らし高齢者宅へ電話し注意を呼びかけた
- ・一人暮らし高齢者宅の防火点検を実施した（76件訪問、地域選定 年2回）

通所介護・介護予防通所介護事業

- ・通所介護のべ4,849名利用、予防通所介護195名利用
- ・ボランティアの協力を得てふれあいづくりを行った

障がい福祉サービス事業

1. 生活介護の実施「ゆうゆう舎かわべ」（一部共同募金・歳末助け合い募金事業）

- ・244日開所（3,221名利用）、486回送迎（5,933名利用）
 - ・利用者の自立した日常生活または社会生活を営むことができるように支援した
 - ・15名が通所し、送迎用のワゴン3台で可茂地区管内の利用者の送迎を実施した
 - ・サービス利用等利用計画（相談支援専門員作成）に基づき個別支援計画を作成した
 - ・個別支援計画に基づいて相談支援事業、個別支援事業を実施した
 - ・民生児童委員協議会、企業、親の会、地域の協力により、アルミ缶・ペットボトルキャップ、段ボールなどのリサイクル事業や廃油回収等を実施した
 - ・「川湊の里」や「手作り工房～夢街道～」（美濃加茂市）で授産製品の販売を実施した
 - ・県内の特別支援学校から8名の実習生を受け入れた
 - ・友友会で歌とハンドベルの発表を行い、ゆうゆう舎の理解を図った
 - ・24時間テレビチャリティー委員会より福祉車両ミニバン1台の贈呈を受けた
- ### 2. 居宅介護・重度訪問介護の実施
- ・在宅において障がい者等がその有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営めるようヘルパーが援助した（訪問介護のべ2,015件利用、利用者6名）
- ### 3. 地域生活支援事業（訪問入浴サービス、経過デイサービス）の実施
- ・訪問入浴（今年度利用なし）、経過デイサービスのべ82件（利用者2名）

福祉用具・車両等無料貸し出し事業

1. 福祉車両の無料貸し出し事業（町受託事業）

- ・車いすごと乗せることができるワゴン車1台、軽自動車2台を所有し、介護者の移動援助のために無料で貸し出しを実施した。（のべ141件）

2. 車椅子の無料貸し出し事業

- ・車いすを必要とする方に対し、最大1年間無料貸し出しを実施した（のべ77件貸出、73台保有）

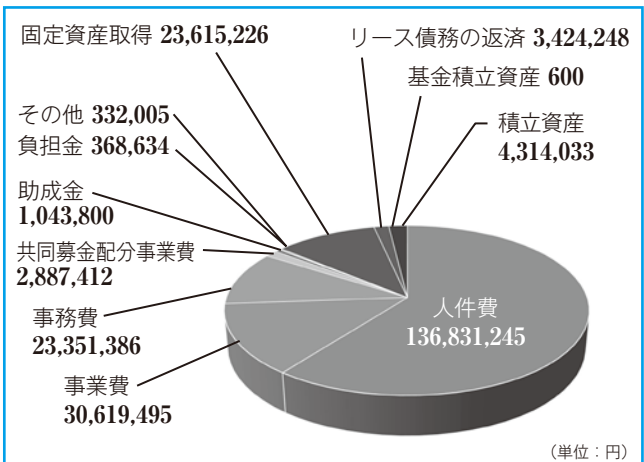
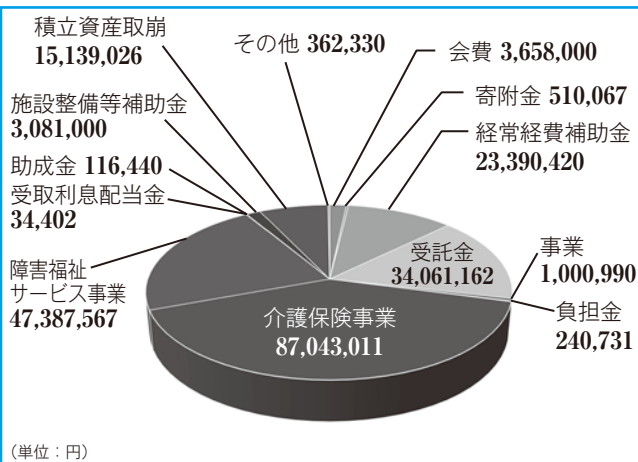
<平成29年度一般会計収支決算報告>

収入 合計 **216,025,146円**

内訳	会費	3,658,000円
	寄附金	510,067円
	経常経費補助金	23,390,420円
	受託金	34,061,162円
	事業金	1,000,990円
	負担金	240,731円
	介護保険事業	87,043,011円
	障害福祉サービス事業	47,387,567円
	助成金	116,440円
	受取利息配当金	34,402円
	施設整備等補助金	3,081,000円
	積立資産取崩	15,139,026円
	その他	362,330円

支出 合計 **226,788,084円**

内訳	人件費	136,831,245円
	事業費	30,619,495円
	事務費	23,351,386円
	共同募金配分事業費	2,887,412円
	助成金	1,043,800円
	負担金	368,634円
	その他	332,005円
	固定資産取得	23,615,226円
	リース債務の返済	3,424,248円
	基金積立資産	600円
	積立資産	4,314,033円



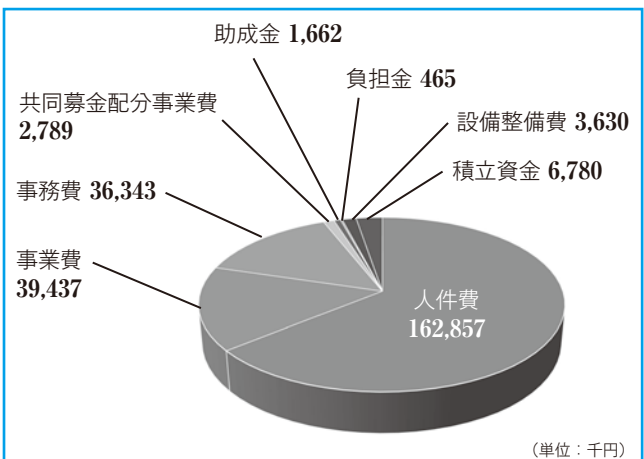
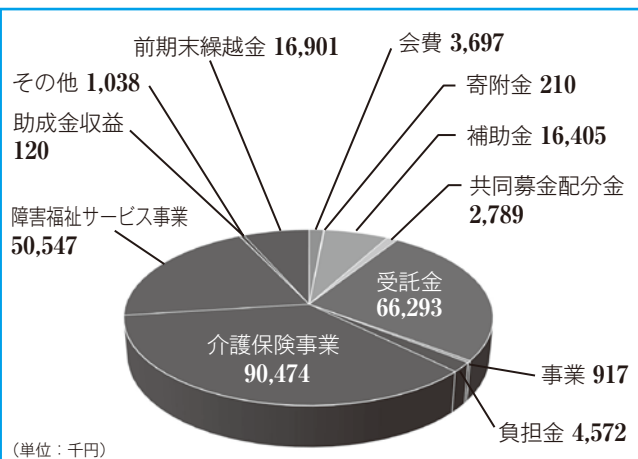
<平成30年度一般会計収支予算書>

収入 合計 **253,963千円**

内訳	会費	3,697
	寄附金	210
	補助金	16,405
	共同募金配分金	2,789
	受託金	66,293
	事業金	917
	負担金	4,572
	介護保険事業	90,474
	障害福祉サービス事業	50,547
	助成金収益	120
	その他	1,038
	前期末繰越金	16,901 (千円)

支出 合計 **253,963千円**

内訳	人件費	162,857
	事業費	39,437
	事務費	36,343
	共同募金配分事業費	2,789
	助成金	1,662
	負担金	465
	設備整備費	3,630
	積立資金	6,780 (千円)



心と心がかよう 福祉のまちづくりをめざして 平成30年度社会福祉協議会会費納入に ご理解とご協力をお願いいたします。

社会福祉協議会は、町民の皆さんと協力して地域福祉を推進するために活動している民間の社会福祉団体で、全国の市町村に1カ所ずつあります。地域の住民のみなさんの身近なところで福祉サービスなどを提供します。町民の皆様一人ひとりが福祉の担い手として地域福祉を展開していくためにも、活動の財源となります会費の納入について、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



<川辺町社会福祉協議会は、こんな事業をしています>

《みなさまの会費がこんな活動をえています》

- 社協だより「やすらぎ」の発行
- 各地区での地区懇談会（会費説明会）の開催
- 配食サービス事業（一部活用）
- ボランティア養成のための各種講座の開催
- 福祉委員による見守り活動
- ボランティア活動保険の加入補助 等
- 福祉委員、民生児童委員の協力による敬老会開催事業

●情報を発信します！

- ・ホームページの運用
- ・ケーブルテレビを利用し社協事業をPR
- ・社協だより「やすらぎ」の発行



●ボランティア活動の推進、育成を行っています！

- ・ボランティアセンター事業
- ・災害ボランティアセンター事業
- ・各種ボランティア講座、研修の充実（話し方上手講座、聞き方上手講座、サロンで使える実技講座等）
- ・福祉委員の育成、活動の強化
- ・ボランティア活動保険の加入の推進、一部補助
- ・古切手、テレホンカード等収集・リサイクル活動
- ・男の料理教室、男性配食サービスボランティアの育成
- ・ちょっとした手助けサポーター活動の推進
- ・かわべ防災の会と協力して防災講演会を実施



●福祉用具・車両を貸し出します。

- ・リフト・ストレッチャー付のワゴン、車椅子専用のスロープ付き軽自動車の貸し出し
- ・車椅子の貸し出し



●次世代を担う子どもの「福祉の心」を育てる事業

- ・福祉協力校指定事業（町内各こども園、各小学校、中学校へ助成）
- ・町内こども園、学校への福祉教育推進事業（福祉の出前授業、授業や職業体験での児童生徒の受入）
- ・ワークキャンプの実施（中学生対象）

●障がい福祉普及啓発を行います！

- ・障がい福祉協議会の支援・育成事業
- ・障がい者相談事業

●親子のふれあいのための事業

- ・母子父子家庭クリスマス事業
- ・親子ふれあい事業の実施（ひとり親家庭対象）

●高齢者のふれあいのための事業

- ・福祉委員、民生児童委員の協力による敬老会開催事業
- ・友友会（一人暮らし高齢者のつどい）の開催

- ・介護者の集いの開催（年2回）
- ・福寿会事務事業
- ・ふれあいいきいきサロン事業の普及・支援
- ・サロン交流会の開催、サロン実施の会場費の助成
- ・ボランティア、民生委員の協力を得て行う配食サービス事業（80歳以上の一人暮らしの方対象）
- ・認知症予防講座やすらぎ音楽サロンを実施
- ・ひとり暮らし高齢者宅歳末安否確認
- ・高齢者宅ふれあい年賀状の送付

●日常生活でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

- ・弁護士による無料法律相談
（偶数月第2水曜日午後実施。要予約。）
- ・社協職員による福祉なんでも相談
- ・生活福祉資金貸付に関する相談
- ・日常生活自立支援事業に関する相談
- ・生活困窮者自立相談支援窓口との連携



●高齢者の方が安心して地域で暮らせるために支援いたします。

（居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、通所介護事業所）

- ・居宅サービス計画、介護予防サービス計画書の作成
- ・（予防）訪問介護〔身体介護、生活援助〕、
- ・（予防）訪問入浴の提供
- ・（予防）通所介護事業



ケアマネ、ヘルパー、
デイサービスをやっています

●障がい児・者の方の自立や、生活を支援いたします。

- ・生活介護事業所「ゆうゆう舎」の実施（可茂地区管内の送迎サービスの実施）
- ・居宅介護、重度訪問介護の実施
- ・地域生活支援事業（訪問入浴サービス、経過デイサービス）の実施

●赤い羽根・歳末たすけあい運動への協力と事業の推進をしています！

●受託事業（町）

- ・軽度生活援助事業（介護保険対象外の方々への訪問介護サービス）
- ・福祉バス運行事業（地区巡回バス、行政バスの運行）
- ・認定調査事業（介護保険対象者の家庭へ訪問し、更新のための調査を行う）
- ・川辺西児童クラブ、西小児童クラブ、北小児童クラブ運営事業



●指定管理者制度

- ・やすらぎの家経営

●ボランティアさんと一緒に楽しく学べる場所をつくります。

- ・ぎふ子どもの学習支援事業（基本的学習習慣を身につけること、社会体験を目的に実施）

7月より各区長様、区役員様をとおして、各世帯へ会費の納入の案内が届きます。

川辺町社会福祉協議会の事業にご協力お願いします。

平成29年度社協会費納入につきましては、ご協力いただきありがとうございました。

みなさまの会費が地域福祉をささえます！ご協力お願いいたします。

特別賛助会員	年間	3,000円／1口	（会社・個人事業所・商店経営・団体等）
特別会員	年間	3,000円／1口	
一般会員	年間	1,000円／1口	

7月1日～10月31日の社協予定表

● 9月14日(金)
・中川辺上・福島
・下飯田● 9月13日(木)
・上川辺・石神● 9月12日(水)
・下川辺・下吉田
・下麻生● 9月11日(火)
・西橋井・鹿塩● 9月10日(月)
・中川辺下・比久見

敬老会

10月22日(水)

9月25日(月)

8月27日(月)

7月23日(月)

やすらぎ音楽サロン

10月17日(水)

10月3日(水)

9月19日(水)

9月5日(水)

8月29日(水)

8月1日(水)

7月18日(水)

7月4日(水)

配食サービス

～各種相談事業日程～

心の悩み、軽くします

★秘密厳守、無料ですのでお気軽にご相談ください。

○無料法律相談○ ※予約は1ヶ月前から受付いたします。

月 日	相談員	場 所
8 / 8 (水)	鈴木 友美 弁護士	やすらぎの家
10 / 10 (水)	陶山 智洋 弁護士	やすらぎの家
相談時間 午後1時から4時まで		

○身障知的相談○ ※予約不要です。

月 日	相談員	場 所
10 / 9 (火)	身障・知的相談員	やすらぎの家
相談時間 午前10時から12時まで		

★社協職員福祉なんでも相談、福祉サービス利用援助相談開催中!!
秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

職員募集

■運転手 (パート職員、デイサービスセンター送迎等)

- 1) 募集人員…若干名
- 2) 応募条件…健康な方、65歳くらいまで
- 3) 時 給…1,500円
- 4) 休 日 等…日曜日、年末年始
- 5) 勤務時間…1日 8:30～9:30と15:30～17:00(応相談)

■デイサービスセンター職員 (パート職員)

- 1) 募集人員…若干名
- 2) 応募条件…介護に興味のある方、健康な方、65歳まで
※資格のない方は入社後初任者研修を受講
- 3) 時 給…850円スタート昇給有
- 4) 休 日 等…日曜日、年末年始
- 5) 勤務時間…8:30～17:00のうち6時間未満(応相談)

申込み方法は下記までお電話で確認をお願いします。

社会福祉法人 川辺町社会福祉協議会

電話 (0574) 53-2121 FAX (0574) 53-6162

福祉委員が敬老会の出欠確認を兼ねた見守り活動を行います!!

9月10日～14日に敬老会を開催するにあたり、8月中旬に地元の福祉委員さんが75歳以上の対象となる方の自宅へ伺います。出欠確認を兼ねた見守り活動を行いますのでご協力をお願いいたします。

普段の生活の中で困ったことや気になることがあれば訪問された福祉委員さんへお話しください。福祉委員さんを通じて社会福祉協議会で対応させていただきます。

支え合いづくりのために……福祉委員としてご協力いただける方を募集しています!

ご協力いただける方は、川辺町社会福祉協議会までご連絡をお願いします。ぜひお力をお貸しください。

☎ (0574) 53-2121 Fax (0574) 53-6162

善意のご寄付ありがとうございます (順不同・敬称略)

《4月1日～5月31日受付分》

<川辺町社会福祉協議会へ>

- 佐藤幸子…………… 500,000円
- 美濃加茂市社会福祉協会…………… 50,000円
- 匿名…………… 8,256円
- 匿名…………… 図書、おもちゃ

<ゆうゆう舍かわべへ>

- ゆうゆう舍かわべ親の会…………… 100,000円、人工芝マット
- 川辺町心身障がい者親の会 どんぐり…………… 10,000円

その他、ペットボトルキャップ、古切手、アルミ缶や新聞紙等の資源などご協力ありがとうございました。